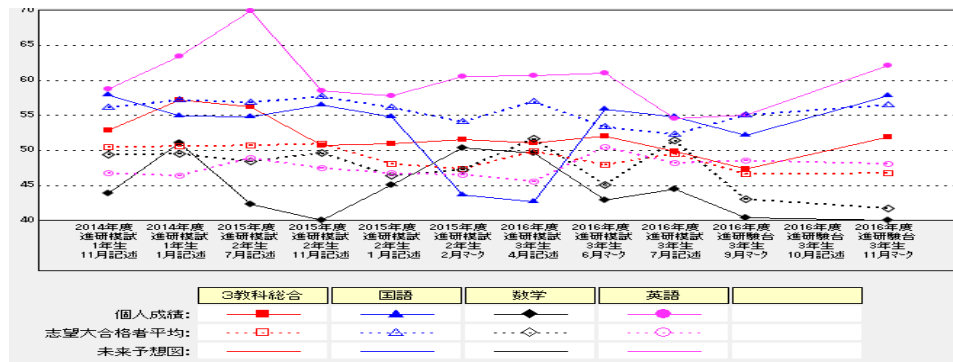


試験・模試後の学習について



4月・5月で模擬試験や第1回の定期試験が終わりました。ほっとしている人も多いのではないのでしょうか。しっかりと準備をして試験に臨むことはもちろん大切ですが、試験が終わった後の反省もとても重要です。



左のグラフは模試の成績結果です。まず「志望大学合格者平均の偏差値」に注目しましょう。

これは、これから受験勉強を進める指標の1つになります。今はまだ、合格した先輩達の成績と差がある人もいるかもしれません。この差を埋めていくことが受験勉強です。この数値を上回る回数が増えるほど、志望校合格の可能性が高まるので毎回の模試の目標として意識しましょう。

A判定、E判定と判定が出て一喜一憂していませんか。この時期のE判定やD判定は問題になりません。これから伸ばすべき学力が明確になったのであれば、あとはこれからの受験勉強次第でどんどん伸びていくはずです。学習方法や内容を考えて効果的に学習計画を立てて取り組みましょう。

模試や定期テストは受けっぱなしでは意味がありません。考え抜かれた良質な問題ですので、受けた後も存分に活用した方がいいでしょう。出題範囲の復習をしたあと、解き直しをしましょう。このとき、復習の3日後など時間を置いてからの解き直しをすることでさらなる定着が期待できます。何度も繰り返して自分の力にして下さい。

「授業＝受験勉強？」

時間がなくて受験勉強ができない。そう思っている人はいませんか？時間は皆に平等です。うまく時間を使う工夫をしましょう。「授業を受験勉強ととらえて本気で取り組んでいるか。」これもポイントだと思います。これが出来れば、朝や放課後で3時間ほどの自主学習をしたとして1日10時間の受験勉強をしていることになります。授業があるからその時間受験勉強をしていないというわけではなく、その時間にどれだけ集中し吸収できるか受験を意識して取り組んで下さい。

特に高校1・2年生は「授業＝受験勉強」と意識した時期が早いほど受験勉強に早く取り組んでいることになるので、定期テストや模試の伸びが変わってくると思います。

入試の基礎知識

今回は受け付けがもうすぐ開始になる「AO入試」についてです。受験生の個性や能力、大学との相性などを、時間をかけて総合的に評価する入試が「AO(アドミッションオフィス)入試」です。

受験生の適性と意欲で合否が決まる

推薦入試と同様、一部を除いて国公立大学でも広く導入されています。AO入試では、各大学の求める学生像を示したアドミッション・ポリシーにふさわしいか、「この大学で学びたい」という強い意欲と目的意識があるかが重視されます。原則として学校長の推薦が不要です。

エントリー時期と選抜方法を確認する

文部科学省によりAO入試の願書受付開始時期は「8月1日以降」と設定されています。入試の内容は、書類や面談・面接、論文、特技や資格などです。書類は自己ピーアールに加え、部活動や生徒会活動、ボランティアなどの活動歴を記入するエントリーシートを提出します。難関大学では、研究レポートの提出や、課題にもとづいたプレゼンテーションが求められることもあります。AO入試の選抜方法は大学によってさまざまです。

オープンキャンパス参加などの必須条件も要確認

大学によってはオープンキャンパスでエントリー受付や面接が行われる場合もあります。オープンキャンパスで行われる模擬授業への参加が、AO入試の出願の条件となっている場合もあります。受験を考えている場合は早めに調べておく必要があります。

「出典：ベネッセ マイビジョン ブック2017 保護者版」

AO入試を考えている人は早速動き出しましょう。

進路講演会



5月13日(土)PUP進路講演会を行いました。3名の本校保護者に、普段聞くことのできない、様々な進路選択や仕事についての話をさせていただきました。講演中は、みな真剣な表情で話を聞き、一生懸命にメモを取り、質問のコーナーでは積極的に質問をする様子も見られました。生徒にとっても貴重な体験になったようです。以下に、生徒のみなさんの感想をいくつか紹介いたします。

☆信念をもって仕事をしていることが素晴らしいと感じました。学生時代で終わるのではなく「一生勉強を続ける」ことが大事なのだと痛感しました。

☆目標を持つことによって成績の向上が可能になり学習も自体が楽しむことができるとわかりました。

☆自分の仕事を「なくてはならない仕事」と言えることがすごいと思います。「楽な仕事はない」という言葉はとても印象的でした。社会に出るためには覚悟が必要だと感じることができました。

☆「情報を共有すること。正しい情報をつかみ自分で判断する」という言葉は今の自分に必要だと感じることができました。

☆3つの「C」はとても大事なことだと思いました。これは学生の間だけではなく将来社会に出た後も必要なことだと思いました。

☆「挨拶」「聞く、聴く、訊く」「虫、鳥、魚、歴史の目」のお話はとても分かりやすく自分の中に染みこんできました。

☆自分自身の得た情報だけでなく周囲の情報をしっかりと見極めることが大切だということが分かった。3つの「C」を大切にしたいと思いました。

☆「自分が学生の頃はモヤモヤしていた」という言葉が自分と同じだと思い安心しました。そして意志を持ち、意識を変えることが将来を明るくするのだと知ることができました。

☆社会では自分の力だけではなく他者の協力の必要性を感じました。どのような職業に対しても学力が必要であるということを感じました。

☆今回の講話で私の将来の選択肢は広げることができたように思います。人に関わっていく上で責任をもって仕事ができるよう広い視野を持ち続けたいと思います。

☆どんな仕事にも辛いことはあるが、その苦難を乗り越えることで具体的な夢や目標を達成できるということを学びました。今回の話を聞いて一日一日頑張ろうと思いました。

☆現状を悲観せず一生懸命努力することで夢はかなうということを教えていただきました。

☆コミュニケーション能力を高めることの重要性を知ることができました。コミュニケーションを高めることで情報収集に繋がり、正確な判断につながる。このことを学べたことはとても価値があることでした。

☆ただ単に勉強するのではなく「周囲からの刺激」と「勉強できる環境」が大事だと分かった。

☆一生勉強したい仕事はやりがいのある仕事なのだと感じる事ができました。仕事に誇りを持っている人たちは格好良いと思いました。

☆いろいろな苦勞を体験しながらも諦めることなく続けることが大切だということを知ることができました。